

電子入札システムにおける「SSL3.0」の脆弱性への対応について

インターネット通信で使用する暗号化方式「SSL3.0」について脆弱性が発見され、悪意の第三者からの攻撃により通信の一部が第三者に漏えいすることが報告されております。

電子入札システムでは、これまで「SSL3.0」方式及び「TLS」方式での利用が可能でしたが、本脆弱性の対応として平成27年3月20日をもって「SSL3.0」方式による利用を不可能とする設定を行うこととしております。

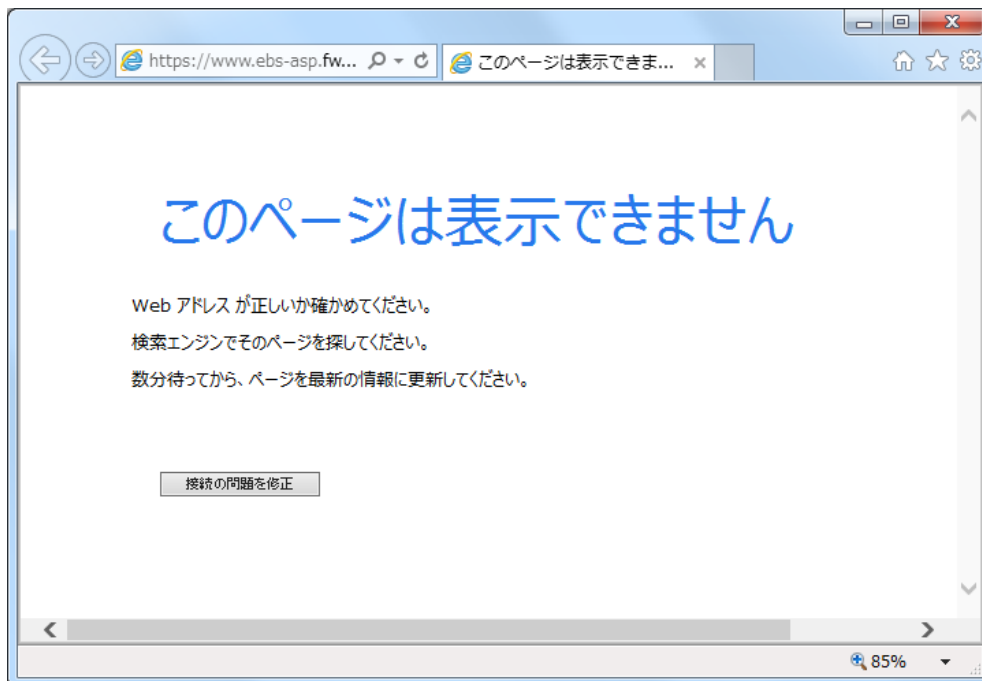
については、当変更に伴い「SSL3.0」方式を利用してこれまで電子入札に参加されていた方は、平成27年3月21日から電子入札システムに接続出来なくなりますので、「TLS」方式への設定変更をお願いします。

ご利用中の Internet Explorer の設定において「TLS」通信が有効になっているか確認してください。（電子入札システムでは、本脆弱性の影響を受けない暗号化方式「TLS」に由来から対応しております。）

なお、「TLS」通信を有効にする手順については、次ページの手順をご確認ください。

※ご利用の Internet Explorer の設定において「TLS」通信を有効にしていない場合、以下メッセージが表示され、電子入札システムに接続ができなくなります。

（エラー時の画面）



電子入札システムをご利用いただく場合、ご利用の Internet Explorer の設定において「TLS」通信が有効になっている必要があります。

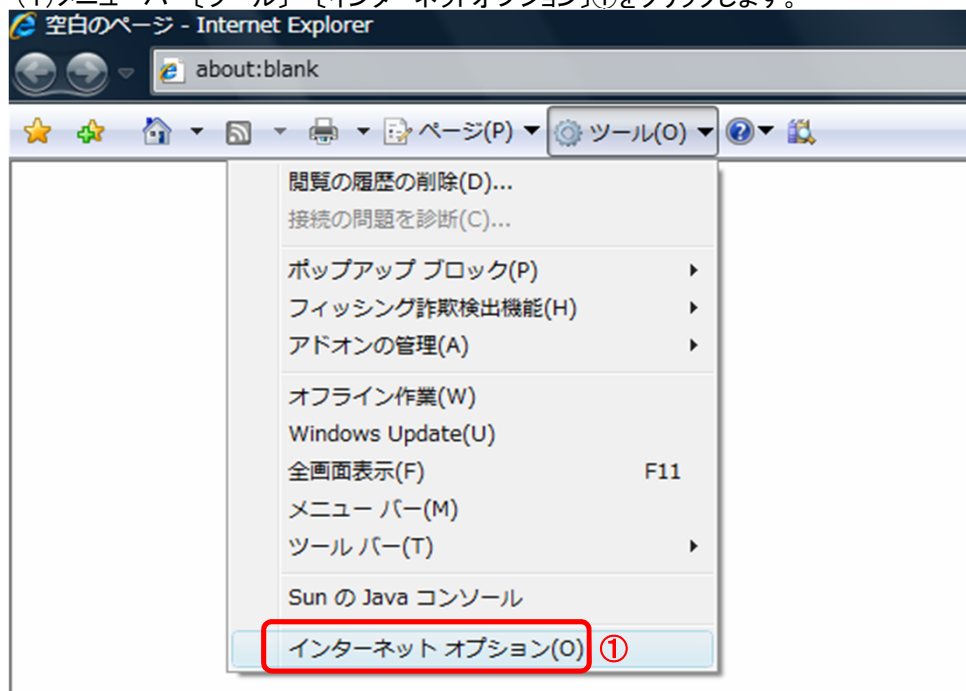
以上

(別紙)暗号化通信方式「TLS1.0」有効化の設定

※Windows8.1をご利用の場合は、デスクトップ画面よりInternet Explorerを開いてください。

1. Internet Explorerを開き、以下の操作を行います。

(1)メニューバー[ツール]—[インターネットオプション]①をクリックします。



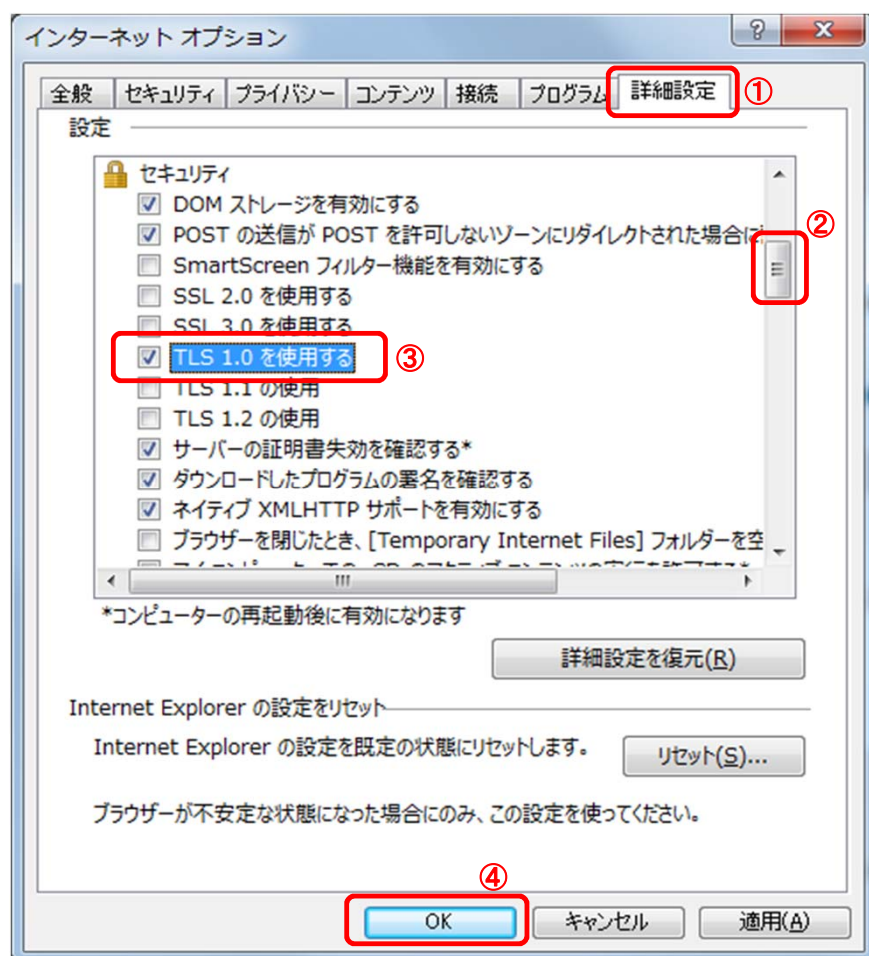
2. インターネットオプションダイアログにて以下の操作を行います。

(1) [詳細設定]タブ①をクリックします。

(2) 「セキュリティ」項目部分までスクロール②し、[TLS1.0を使用する]③にチェックが選択されていることを確認する。

→[TLS1.0を使用する]③にチェックが選択されていない場合、選択する。

(3) [OK]ボタン④をクリックします。



3. Internet Explorerを終了します。他に開いているInternet Explorerがあれば全て終了してください。

以上で設定は終了です。